

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (5)学びによる生きがいの創出

(評価担当者)

教育部長

草川 吉次

■基本施策が目指す姿

市民が、それぞれの学びの成果によって、地域社会で活躍しています。

■関連する分野別計画

亀山市生涯学習計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	市立図書館の入館者数	人	104,474	H27	101,783					120,000
2	生涯学習講座の受講者数	人	25,320	H27	24,185					27,850
3	生涯学習人材バンクを活用した講座開催数	回	14	H27	12					17
4										
5										

■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 生涯学習講座が充実している	重要度	0.91			
	満足度	0.18			
2 公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度	0.75			
	満足度	0.09			
3 図書館が充実している	重要度	0.94			
	満足度	▲ 0.07			
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	<p>「読書活動の推進」については、図書館整備推進委員会や市民ワークショップ等の意見集約を図りながら新図書館を多機能型図書館とする「亀山市立図書館整備基本計画」を策定できたため、個別判定をB評価とした。</p> <p>一方で、「地域へ生かせる学びの展開」については、中央公民館活動推進事業は計画どおり実施できたものの、市民大学を軸とする学びの再構築に向けた事業において、推進委員会の設立に遅れが生じたことから個別判定をBとし、3つの成果指標のH29実績値が下回ったことで総合判定をBとした。</p>
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
<p>当初計画では、「亀山市立図書館整備基本計画」は平成30年3月に策定予定であったが、策定は平成30年5月にずれ込んだ。今後は、亀山駅周辺地区の市街地再開発事業との事業調整はもとより、新図書館の設計及び管理運営方法を定めていく必要がある。</p> <p>「地域へ生かせる学びの展開」における課題は、市民大学と公民館講座を一体化させた学びのしくみづくりについて、何を学び、どのような人材を育成するかについての全庁的な合意形成が必要である。</p>	

今後の展開方針

2022年の亀山駅前の多機能型図書館の開館を目指し、新図書館の基本設計、管理運営方法及び蔵書計画等の検討においても、引き続き、図書館整備推進委員会や市民ワークショップ等での市民の意見を尊重しながら、事業推進を図っていく。地域人材キャリア育成事業において、地域で求められる学びと人材育成について全庁的な合意形成により進めることで、学びの成果をより効果的に地域社会に生かせる仕組みを構築する。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 地域へ生かせる学びの展開						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	中央公民館において地域づくりや地域人材育成をテーマとした実践的な講座を開講した。また、(仮称)市民大学を軸とする学びの体系の再構築に向けて、全庁的な学びの共有と調整について、生涯学習推進委員会において慎重に行うよう意見が出されたため、引き続き調整作業を行うものとした。このため、市民大学に関しての事項を協議する委員会の立ち上げにまでは至らなかった。	評価	公民館講座における地域人材育成につながる学びの展開につなげることができた。ただし、地域間の意識差は大きく、市域全体での取り組みに至っていない。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キ拉里育成事業	主	13,990 / 13,423	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	「地域を『学ぶ』」をテーマとした行政出前講座の開講				B	B

施策の方向② 読書活動の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	新図書館の整備に向けて、従来の取り組みに加えて読書環境の充実にかかる取り組みに着手した。また、「図書館整備基本計画」を有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会やワークショップなどにより市民の意見集約を図りながら策定を行った。	評価	市民ワークショップ等の積み上げによってこれからの地域社会に求められる図書館像を「多機能型」として抽出し、今後の整備や運営方針として示すことができた。また、「あかちゃんタイム」の開始など新図書館によらずとも現図書館で着手できるところは取り組みにつなげることができた。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17107	図書館整備事業	主	2,029 / 1,878	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	月に一度の「あかちゃんタイム」の開始				B	B
	ファミリー読書リレー・ブックスタートの実施				B	B

施策の方向③ だれもが学べる環境づくり						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	すべてのコミュニティセンターにおいて中央公民館出前教室を実施し、そのカリキュラム構築にあたっては、地域まちづくり協議会との協議を踏まえて、策定作業を進めていた「生涯学習計画」との整合を十分に図り、誰もが参加しやすい多様な学びの提供を行うように調整した。	評価	成果指標や取り組みの進捗管理の共有を「生涯学習計画」の策定作業途上ではできなかったため、計画年度開始からどのような学びを提供していくのかについての全庁的な調整に着手したことから、最終合意にまでは至らなかった。ただ、(仮称)市民大学を軸とした学びのしくみづくりの展開に着手することができた。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キ拉里育成事業	主	13,990 / 13,423	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果